

# 吾妻山砂防通信



出張所の花壇は、季節ごとに様々な花で彩られます。

## 第46号



## 火山災害に備えて～吾妻山の現在の状況について～



吾妻山は、平成26年12月12日に継続時間のやや長い火山性微動を観測し、噴火警戒レベルが1(活火山であることに留意※)から2(火口周辺規制)に引き上げられました。以降、現在まで、やや活発な火山活動が続いています。

最近の火山活動の状況としては、昨年10月以降は、火山性地震の少ない期間もありますが、増減を繰り返しながら経過しています。昨年10月から今年2月までは火山性地震の回数は少なく、3月後半から4月上旬にかけて火山性地震の増加が確認されました(気象庁情報)。気象庁では、引き続き小規模な噴火の可能性があるとみて、噴火警戒レベル2を継続し、噴石や火山ガスなどに警戒するよう呼びかけています。

※H27.5.18より噴火警戒レベル1のキーワードを「平常」から「活火山であることに留意」に変更。



一切経山の噴火口(大穴火口)からの噴気  
H28.4.6 浄土平レストハウス駐車場より

※平成27年10月以降の吾妻山の火山性地震等回数 (参考)

	火山性地震(速報値)	火山性微動
平成27年10月	7回	0
11月	1回	0
12月	0回	0
平成28年 1月	3回	0
2月	0回	0
3月	117回	0
4月	176回	0

### 吾妻山に関する福島河川国道事務所の主な対応

#### 『監視体制強化』

噴火警戒レベル2に引き上げられたと同時に、災害対策支部の体制を「注意体制」に切り替え、吾妻山の監視体制を強化しています。

#### 『万が一に備えて訓練を実施』

吾妻山が噴火したと想定し、緊急調査、災害対策用機械の運用、TV会議システムによる関係機関との情報伝達等について、万が一に備え手順や体制の確認を行っています。(H27.3.6、H27.10.2実施)

#### 『情報提供』

事務所HPにおいて吾妻山の現況(監視カメラ)や火山に関する知識等を情報提供しています。

また、当事務所の職員が直接出向いて、最新情報を交えつつ、分かりやすく説明する「出前講座」なども行っています。

⇒福島河川国道事務所は、引き続き各関係機関と連携して、火山防災対策を進めていきます。



事務所HP



出前講座の様子  
(松川庁舎)

### ■ 吾妻山に関する情報はコチラから ■

- 火山災害に備えて(福島河川国道事務所)

<http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/J77101/homepage/sabo/400/index.html>

- 吾妻山周辺ライブカメラ(福島河川国道事務所)

[http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/abukuma\\_live/live\\_sabou.html](http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/abukuma_live/live_sabou.html)

- 吾妻山の活動状況(気象庁)

[http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity\\_info/213.html](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/213.html)

- 吾妻山火山防災マップ(福島市)

<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/uploaded/attachment/33390.pdf>

『出前講座』の  
お問い合わせ・申込みは↓↓↓  
福島河川国道事務所 計画課  
☎024-546-4331(代)まで!

# 教えて、さぼちゃん！Part, 3 「土石流」についてくわしく知りたい！！



**さぼちゃんクイズ2**  
土石流のスピードはどのくらいの速さでしょうか？  
1.歩く速さ 2.自動車の速さ 3.新幹線の速さ



土石流というのは、山から崩れてきた土や石や岩が水と一緒にあって、ものすごい勢いで流れ落ちてくるものです。

土や石や岩が水とまじりあった大きなかたまりになって、谷をけずりながら、どんどん大きくなって流れ落ちてきます。太い木も根こそぎ倒して、いっしょに流してしまいます。

土石流のスピードは、時速40キロから50キロもあります。町を走る自動車と同じくらいの速さです。



土石流のスピードが速いので、流れを背にして逃げてもすぐに追いつかれてしまいます。土砂が流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。また、できるだけ高いところに逃げましょう。



資料提供：NPO法人 土砂災害防止広報センター

## 「土石流」を知ろう！学ぼう！



「土石流模型実験」は、土石流の起こるしくみや、土石流被害の防止・軽減のための対策などを知って頂くことを目的としています。町内会など地域のみなさんと、また子ども会や夏休みの自由研究など、災害や防災についての意識を高める機会にご活用ください。

土石流の引き金になるのは、大雨です。梅雨や台風などで大雨になった時は、土石流が起りやすいので注意が必要です。

### 土石流(模型)を見学しませんか？

**場 所** : 吾妻山山系砂防出張所  
**受付時間** : 4月～11月の平日  
9:30～11:30, 14:00～16:00  
**人 数** : 実験1回につき 3～15人程度

※模型実験の所要時間は15分程度です

- ◆見学を希望される方は、できるだけ前日までにお申し込みください。
  - ◆屋外設備のため、荒天時は実施できません。その他、日程のご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ※詳しくは、吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)事務係長まで、お問い合わせください。

クイズの  
こたえ 2

## 歴史的砂防施設を眺めながら… 荒川沿いを約2,100名がウォーキング♪

5月7日(土)、「うつくしま・みずウォーク2016福島大会」が開催され、約2,100名の方が荒川沿いの歴史的な砂防施設を眺めながら、ウォーキングを楽しみました。

当出張所では今年も「土石流模型実験」を行い、砂防堰堤の役割や土石流のパワーについて実演しました。

また、今大会から小・中学生とその保護者を対象とした「まなぶん3キロコース」が新設されました。このコースは「水環境や自然について学びながら歩く」ことを目的としており、あづま総合運動公園をスタート・ゴール地点として、ガラス工芸館や荒川資料室などを経由する約2時間の行程で行われました。

当出張所長も約50名の参加者と一緒に歩き、荒川の土木遺産でもある水防林や霞堤を見ながら、昔ならではの洪水を軽減する知恵について説明を行いました。



出発前に「エイエイオー！」



土石流模型実験の様子



「まなぶんコース」霞堤付近。出張所長が説明を行いました。

## お問い合わせはこちら

(ご意見・ご感想  
・砂防に関すること)

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)  
〒960-2156  
福島県福島市荒井字地蔵原甲2-14  
TEL 024-593-0831

吾妻山山系砂防出張所(松川庁舎)  
〒960-2261  
福島県福島市町庭坂字遠原三3-4  
TEL 024-591-1207

◆福島河川国道事務所HP( <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/> )も是非ご覧下さい◆